

北神急行198億円で市営化

神戸市 谷上—三宮280円想定

来年10月までに

神戸市は29日、神戸市北区の谷上と都心の神戸戸を結ぶ北神急行電鉄（同市北区）を、親会社の阪急電鉄

から198億円で譲り受けることで基本合意したと発表した。約650億円に上る負債は引き継がない。遅くとも2020年10月1日までの市営化を目指す。

北神急行は市営地下鉄西神・山手線と相互乗り入れをしており、同市は事業譲渡による地下鉄との一体運用で、谷上—三宮間の運賃（540円）を現在ののほぼ半額となる280円にした

い考え。運賃設定などは今後、関係機関と協議する。

谷上—新神戸（約7・5キロ）を8分で結ぶ北神急行はトンネル整備などで建設費が膨らみ、初乗り運賃が360円と割高なのが乗客が伸び悩む要因とされていた。同市と兵庫県が199

9年度から運賃補助などで支えてきたが、新たな運賃軽減策として同市が事業譲渡を提案。昨年末に交渉が始まった。

同市によると、阪急電鉄から駅や車両、トンネルなど北神急行に関係する資産（簿価約400億円）を198億円で譲り受ける。同市と県が現在の運賃補助と同水準の支援を3年間続けた場合、「運賃を大幅に下げても健全な経営が維持できると判断した」（同市）という。

会見で久元喜造市長は「運賃引き下げを乗客数の増加に結びつけ、沿線の魅力を上向きさせたい」とした。

一方、基本合意を受け、阪急電鉄を傘下に置く阪急阪神ホールディングス（HD）は29日、19年3月期に北神急行関連の売却損約190億円の減損損失を計上すると発表した。

（石沢菜々子、三島大一郎）